



平成29年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月14日

上場会社名 株式会社 大庄

上場取引所 東

コード番号 9979 URL <http://www.daisy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了寿

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関、機関投資家、アナリスト、マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	32,256	7.6	194	193.4	201	233.3	77	
28年8月期第2四半期	34,907	1.4	66		60		208	

(注) 包括利益 29年8月期第2四半期 53百万円 (%) 28年8月期第2四半期 224百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	3.74	
28年8月期第2四半期	10.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期第2四半期	41,163	22,955	55.3	1,101.11
28年8月期	41,010	23,174	56.1	1,112.05

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 22,775百万円 28年8月期 23,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		6.00		8.00	14.00
29年8月期		6.00			
29年8月期(予想)				8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,200	4.9	700		750		150	89.4	7.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期2Q	21,198,962 株	28年8月期	21,198,962 株
期末自己株式数	29年8月期2Q	514,689 株	28年8月期	514,689 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期2Q	20,684,273 株	28年8月期2Q	20,684,273 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策及び金融政策の効果もあり、引き続き景気は緩やかな回復基調にあったものの、依然として不透明な状況下で推移いたしました。外食業界におきましては、消費マインドの低迷が続く一方で、業種・業態の垣根を越えた顧客獲得競争がさらに激化しており、引き続き厳しい環境下にあります。

このような状況の中で、当社グループは、当期における最重要経営課題を「将来に向けた収益基盤の確立」と認識し、前期に引き続き新しい「専門店」業態の出店を積極的に進め、店舗改装の強化、店舗業態ポートフォリオの充実化を図るとともに、MD（マーチャンダイジング）改革の推進、外販事業やインバウンド事業など、様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開におきましては、新規出店を7店舗、店舗改装を41店舗（うち27店舗は「カラオケ・歌うんだ村」から「カラオケ・ファンタジー」への業態転換）、店舗閉鎖を12店舗で行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ7.6%減少の32,256百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比98.1%と減少したことや、前期に実施した店舗閉鎖による売上減少が大きく影響し、売上高は前年同期に比べ10.1%減少の26,203百万円となりました。

卸売事業につきましては、フランチャイズ店舗への食材卸売が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ1.5%減少の2,135百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転貸が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.2%増加の540百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ7.5%減少の187百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ10.6%増加の3,189百万円となりました。

一方、利益面につきましては、売上高の減少により売上総利益額は減少したものの、販売管理費のコスト削減効果等により、営業利益は194百万円（前年同期は営業利益66百万円）、経常利益は201百万円（前年同期は経常利益60百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は77百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失208百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は18,383百万円となり、前連結会計年度末に比べて242百万円減少となりました。これは、現金及び預金が313百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は22,779百万円となり、前連結会計年度末に比べて395百万円増加となりました。これは、店舗改装等により建物及び構築物（純額）が493百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は8,984百万円となり、前連結会計年度末に比べて326百万円減少となりました。これは、未払法人税等が608百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は9,223百万円となり、前連結会計年度末に比べて699百万円増加となりました。これは、役員退職慰労引当金が575百万円減少したことに対し、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は22,955百万円となり、前連結会計年度末に比べて219百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が242百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,831百万円増加の14,775百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、167百万円の資金支出（前年同期は974百万円の資金収入）となりました。収入の主な内訳は減価償却費701百万円及び賞与引当金の増加額288百万円等であり、支出の主な内訳は法人税等の支払額789百万円及び役員退職慰労引当金の減少額575百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,575百万円の資金支出（前年同期は772百万円の資金支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,370百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,492百万円の資金収入（前年同期は586百万円の資金支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,155百万円等に対し、長期借入れによる収入3,000百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,071	14,757
売掛金	1,913	1,757
有価証券	30	66
商品及び製品	452	446
仕掛品	1	0
原材料及び貯蔵品	158	162
繰延税金資産	302	413
その他	859	947
貸倒引当金	△164	△168
流動資産合計	18,625	18,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,351	5,844
機械装置及び運搬具(純額)	439	508
工具、器具及び備品(純額)	435	427
土地	4,268	4,243
リース資産(純額)	307	233
建設仮勘定	139	144
有形固定資産合計	10,941	11,402
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	3	3
その他	408	525
無形固定資産合計	1,325	1,442
投資その他の資産		
投資有価証券	261	283
出資金	4	4
長期貸付金	19	17
差入保証金	5,912	5,931
敷金	3,581	3,460
繰延税金資産	161	75
その他	260	243
貸倒引当金	△83	△81
投資その他の資産合計	10,118	9,935
固定資産合計	22,384	22,779
資産合計	41,010	41,163

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,064	1,692
短期借入金	125	125
1年内返済予定の長期借入金	2,129	2,688
1年内償還予定の社債	120	60
リース債務	163	125
未払金	2,539	2,127
未払法人税等	954	345
未払消費税等	251	259
賞与引当金	396	684
株主優待引当金	122	116
店舗閉鎖損失引当金	23	13
資産除去債務	23	19
その他	396	724
流動負債合計	9,311	8,984
固定負債		
社債	30	—
長期借入金	3,762	5,048
リース債務	222	164
退職給付に係る負債	1,671	1,727
役員退職慰労引当金	863	288
受入保証金	582	588
資産除去債務	1,386	1,394
繰延税金負債	3	3
その他	0	8
固定負債合計	8,523	9,223
負債合計	17,835	18,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	4,944	4,701
自己株式	△602	△602
株主資本合計	22,876	22,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	147
土地再評価差額金	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	125	142
非支配株主持分	172	179
純資産合計	23,174	22,955
負債純資産合計	41,010	41,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	34,907	32,256
売上原価	13,064	12,341
売上総利益	21,842	19,915
販売費及び一般管理費	21,776	19,720
営業利益	66	194
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
その他	32	42
営業外収益合計	35	45
営業外費用		
支払利息	28	17
貸倒引当金繰入額	0	1
その他	12	19
営業外費用合計	41	38
経常利益	60	201
特別利益		
固定資産売却益	0	5
受取補償金	18	—
特別利益合計	19	5
特別損失		
固定資産売却損	14	—
固定資産除却損	78	87
店舗関係整理損	21	31
減損損失	128	40
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	3
特別損失合計	243	162
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△163	44
法人税、住民税及び事業税	208	146
法人税等調整額	△168	△31
法人税等合計	39	114
四半期純損失(△)	△203	△69
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	7
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△208	△77

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)
四半期純損失(△)	△203	△69
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	16
土地再評価差額金	5	—
その他の包括利益合計	△20	16
四半期包括利益	△224	△53
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△229	△60
非支配株主に係る四半期包括利益	5	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△163	44
減価償却費	834	701
減損損失	128	40
賞与引当金の増減額(△は減少)	603	288
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△68	△575
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	28	17
固定資産除却損	78	87
固定資産売却損益(△は益)	14	△5
売上債権の増減額(△は増加)	175	156
たな卸資産の増減額(△は増加)	4	1
仕入債務の増減額(△は減少)	△306	△372
未払消費税等の増減額(△は減少)	△370	8
その他	326	245
小計	1,282	636
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△28	△17
法人税等の支払額	△285	△789
法人税等の還付額	3	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	974	△167
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△917	△1,370
有形固定資産の売却による収入	13	32
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5	—
貸付けによる支出	△1	△2
敷金及び保証金の差入による支出	△40	△181
敷金及び保証金の回収による収入	412	238
その他	△244	△292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△772	△1,575
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,050	3,000
長期借入金の返済による支出	△1,212	△1,155
社債の償還による支出	△100	△90
配当金の支払額	△165	△166
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
セール・アンド・リースバックによる収入	45	—
リース債務の返済による支出	△203	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△586	1,492
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△384	△247
現金及び現金同等物の期首残高	11,328	15,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,943	14,775

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	29,140	2,166	513	202	32,024	2,882	34,907	—	34,907
セグメント間の内部売 上高又は振替高	16	5,218	247	—	5,482	517	6,000	△6,000	—
計	29,157	7,384	761	202	37,506	3,400	40,907	△6,000	34,907
セグメント利益	643	253	153	138	1,190	73	1,264	△1,197	66

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,197百万円には、セグメント間の取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,200百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において111百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において17百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	26,203	2,135	540	187	29,066	3,189	32,256	—	32,256
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	5,383	201	—	5,584	609	6,194	△6,194	—
計	26,203	7,518	741	187	34,651	3,799	38,450	△6,194	32,256
セグメント利益	856	217	153	131	1,359	159	1,518	△1,324	194

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,324百万円には、セグメント間の取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,324百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において32百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において8百万円であります。

以上